

彦根市図書館整備基本計画（概要版）

整備基本計画の中で整理された中央館、地域館等の役割、概要を以下に示す。

		中央館	北部館	南部館	サービス ポイント
役割		・地域館およびサービスポイントを含めたすべてを統括 ・全館の企画、運営、庶務など管理運営を一括管理 ・湖東定住自立圏域内1市4町の拠点館 ・資料の保存と提供が重点方針	・図書の貸出、返却 ・古文書、貴重な歴史、郷土資料、行政資料、舟橋聖一記念文庫資料の保存管理と情報発信 ・文化の香り高い彦根らしさを持った図書館	・図書の貸出、返却 ・基本となる図書、雑誌、新聞を配架 ・親しみのある地域ニーズを反映した図書館	中央館の支援による図書の貸出、返却、検索ができるサービスポイント
規模		延床面積：4,300 m ² 程度 敷地面積：9,000 m ² 程度 (駐車場含む)	現有施設を利用	開架面積：500 m ² 程度	(仮称)新市民体育センターまちなか交流棟の一角
整備場所		河瀬学区、亀山学区 ※令和3年3月30日、清崎町地先に決定	現図書館を引き続き使用	JR稲枝駅西口周辺から稲枝支所周辺のエリア	(仮称)新市民体育センターまちなか交流棟
蔵書計画	開架	・開架冊数:15万冊 ・ゆとりをもった開架スペース ・一般開架5段、児童開架4段 ・障害者や高齢者向けの視聴覚資料の充実 ・特設コーナーの設置 ・おはなしの部屋の設置 ・ユニバーサルデザインの導入、施設バリアフリー化による人にやさしい施設整備	・開架面積800m² ・開架冊数:8万冊	・開架冊数:5万冊	—
	書庫	・閉架冊数:70万冊 ・作業場所を確保 ・集密書架を多く配置 ・書庫は約500冊/m²程度	・閉架冊数:4万冊 ・貴重資料、彦根藩関係資料などの管理スペースの確保	・書庫は設置しない。	—
その他		・駐車区画:150台 ・駐車場:緑地帯を含め4,000 m²程度 ・駐輪場:30台～50台程度 ・閲覧席、学習室、休憩コーナー、会議室 ・移動図書館、専用書庫	・故舟橋聖一氏の生原稿などの特殊資料等の適正な管理スペースの確保	—	—